

平成22年12月7日

第2回日本・アラブ経済フォーラムの開催について

12月11、12日に、チュニジアにおいて、第2回日本・アラブ経済フォーラムを開催します。日本からは、大畠経済産業大臣、前原外務大臣のほか、経済界から要人が参加予定です。

1. 主な日程

- 12月10日（金） チュニジア政府歓迎レセプション
12月11日（土） 開会式、新規プロジェクト発表、
閣僚級会合（エネルギー、環境、人材開発、教育、科学技術）
セクター別セミナー（太陽光・太陽熱、水ビジネス、
日本企業のアラブ地域でのビジネス活動）
共同声明、夕食会
12月12日（日） セクター別セミナー（原子力、インフラ、IT・ハイテク・衛星）
閣僚級会合（投資、観光、金融、貿易分野における協力）
閉会式

2. 場所

ラマダ・ホテル
（チュニジア、チュニス郊外ガマルタ地区）

3. 日本・アラブ経済フォーラムの主な出席者

<日本側>

経済産業大臣、外務大臣、日本経団連、中東協力センター、日本貿易振興機構、国際協力機構、国際協力銀行、日本貿易保険、新エネルギー・産業技術総合開発機構、日本貿易会、中東調査会、日本アラブ協会、企業関係者 他

<アラブ側>

アラブ連盟、アラブ連盟メンバーの外務・経済・エネルギー関係閣僚、関係経済団体の長、企業関係者 他

4. 日本・アラブ経済フォーラムの意義

- ①貿易、投資、エネルギー、科学技術、人的資源開発などの幅広い分野での協力を通じた、日本とアラブ諸国との経済関係の強化を目的として、閣僚級の対話の枠組みとして設置されました。アラブ主要国は、日本に対し、アラブ地域全体との経済関係拡大を要請しています。

- ②アラブ各国の主要課題は経済・産業の多角化です。日本企業にとっては、水・原子力などインフラ輸出のチャンスとなります。このフォーラムを通して、日本の存在感を示し、発信力を高めることは、資源外交上も非常に有効です。

5. 参加国

アラブ連盟メンバー（21ヶ国1機構）：

アラブ首長国連邦、アルジェリア、イエメン、イラク、エジプト、オマーン、カタール、クウェート、コモロ、サウジアラビア、ジブチ、シリア、スーダン、ソマリア、チュニジア、バーレーン、モーリタニア、モロッコ、ヨルダン、リビア、レバノン、パレスチナ暫定自治政府（PA）

（本発表資料のお問い合わせ先）

通商政策局中東アフリカ課長 森 清

担当者： 藤澤、猪口

電 話：03-3501-1511（内線 3008）

03-3501-2283（直通）